

## サブドレン等核種分析結果

参考値
-----

(データ集約 : 3/21)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン	福島第一 3号機 サブドレン	福島第一 4号機 サブドレン	福島第一 5号機 サブドレン	福島第一 6号機 サブドレン	福島第一 構内深井戸
試料採取日時刻	平成25年3月20日 8時48分	平成25年3月20日 8時45分	平成25年3月20日 8時39分	平成25年3月20日 8時36分	対象外	対象外	平成25年3月20日 7時55分
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )						
I-131 (約8日)	ND	ND	ND	ND	-	-	ND
Cs-134 (約2年)	1.5E-01	6.6E-01	ND	ND	-	-	ND
Cs-137 (約30年)	3.0E-01	1.3E+00	ND	ND	-	-	ND

． E - とは、 ． × 1 0 <sup>-</sup> と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

本分析における放射能濃度の検出限界値 ( I - 131 が約 2E - 2Bq/cm<sup>3</sup>、Cs - 134 が約 2E - 2Bq/cm<sup>3</sup>、Cs - 137 が約 2E - 2Bq/cm<sup>3</sup> ) を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

## サブドレン核種分析結果

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 5号機サブドレン
試料採取日	平成24年7月9日	平成24年7月6日
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( Bq/cm <sup>3</sup> )	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	8.1E-01	ND
Cs-137 (約30年)	1.4E+00	ND
H-3 (約12年)	1.5E-01	6.6E-02
全	ND	ND
全	2.1E+00	ND
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	1.9E-02	3.5E-05

$E \pm$  とは,  $\dots \times 10^{\pm}$  と同じ意味である。  
 I-131, Cs-134, Cs-137については, 7月7日, 10日公表。H-3, 全, 全 については, 10月3日公表。  
 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は, 「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。  
 I-131が約3E-2Bq/cm<sup>3</sup>, Cs-134が約2E-2Bq/cm<sup>3</sup>, Cs-137が約2E-2Bq/cm<sup>3</sup>,  
 全 が約3E-3Bq/cm<sup>3</sup>, 全 が約9E-3Bq/cm<sup>3</sup>, Sr-89が約3E-4Bq/cm<sup>3</sup>。  
 ただし, 検出限界値は検出器や試料性状により異なるため, この値以下でも検出される場合もある。  
 Sr-89, Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

## サブドレン核種分析結果

採取場所	福島第一 2号機サブドレン	福島第一 6号機サブドレン
試料採取日	平成24年8月13日	平成24年8月10日
検出核種 (半減期)	試料濃度 ( Bq/cm <sup>3</sup> )	
I-131 (約8日)	ND	ND
Cs-134 (約2年)	4.2E-01	ND
Cs-137 (約30年)	7.4E-01	ND
H-3 (約12年)	4.5E-01	2.0E-01
全	ND	ND
全	1.3E+00	ND
Sr-89 (約51日)	ND	ND
Sr-90 (約29年)	4.9E-02	6.6E-05

NDとは、 $< 2 \times 10^{-2}$ と同じ意味である。

I-131, Cs-134, Cs-137については, 8月11日, 14日公表。H-3, 全, 全については, 10月3日公表。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は, 「ND」と記載。検出限界値は次のとおり。

I-131が約 $2\text{E}-2\text{Bq}/\text{cm}^3$ , Cs-134が約 $2\text{E}-2\text{Bq}/\text{cm}^3$ , Cs-137が約 $2\text{E}-2\text{Bq}/\text{cm}^3$ ,

全 が約 $3\text{E}-3\text{Bq}/\text{cm}^3$ , 全 が約 $9\text{E}-3\text{Bq}/\text{cm}^3$ , Sr-89が約 $1\text{E}-3\text{Bq}/\text{cm}^3$ 。

ただし, 検出限界値は検出器や試料性状により異なるため, この値以下でも検出される場合もある。

Sr-89, Sr-90の分析は株式会社 化研にて実施。

(評価)

Sr-90が検出されており, 今回の事故による影響と考えられる。

## 福島第一原子力発電所 サブドレンのPu分析結果

### 1. 測定結果：

(単位：Bq/cm<sup>3</sup>)

採取場所	採取日	Pu-238	Pu-239+Pu-240
2号機サブドレン	平成24年9月10日	N.D. [ $<2.1 \times 10^{-6}$ ]	N.D. [ $<1.8 \times 10^{-6}$ ]
深井戸	平成24年9月10日	N.D. [ $<1.7 \times 10^{-6}$ ]	N.D. [ $<1.4 \times 10^{-6}$ ]

[ ]内は検出限界値を示す

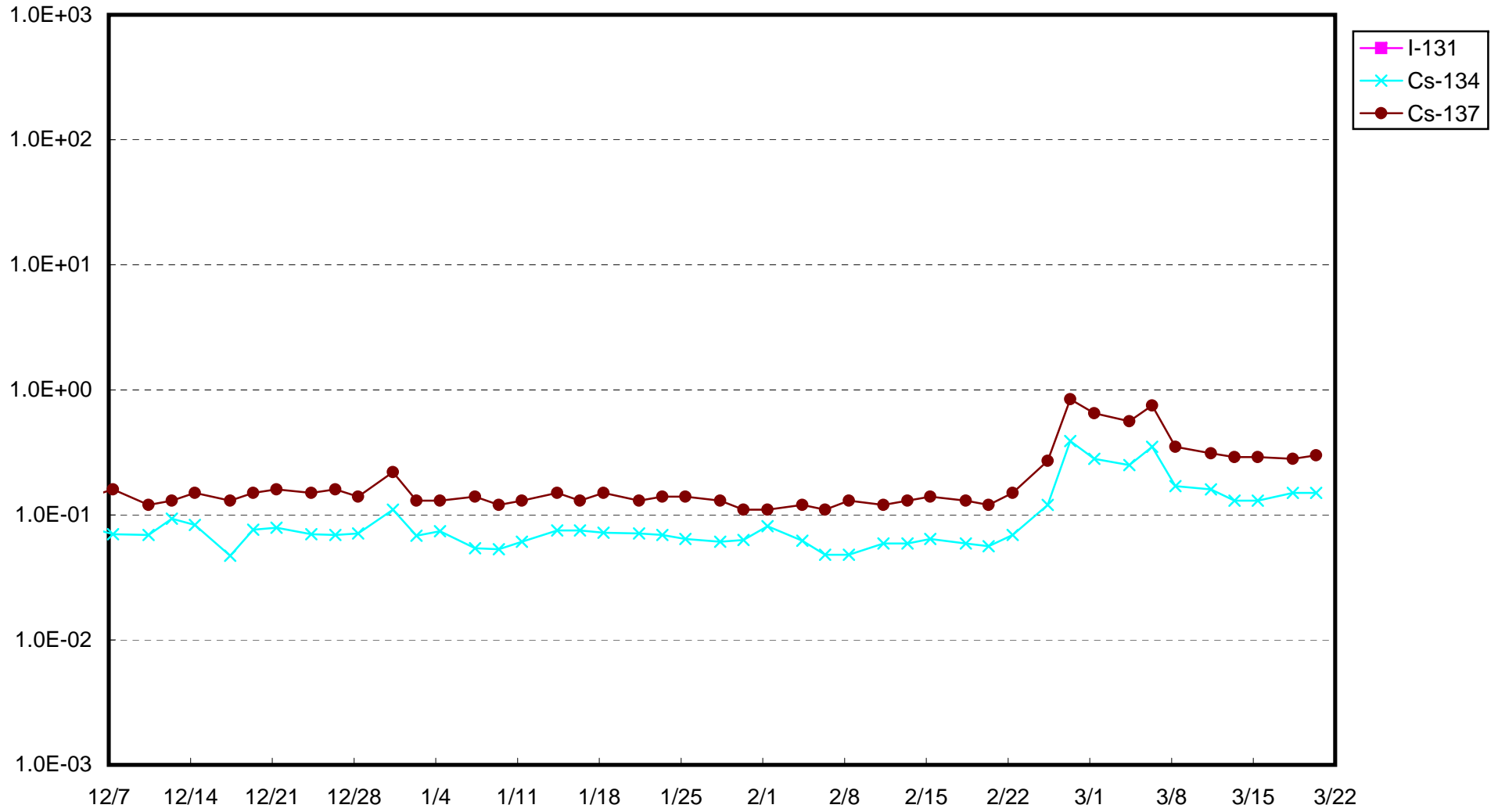
### 2. 分析機関：株式会社 化研

### 3. 評価：

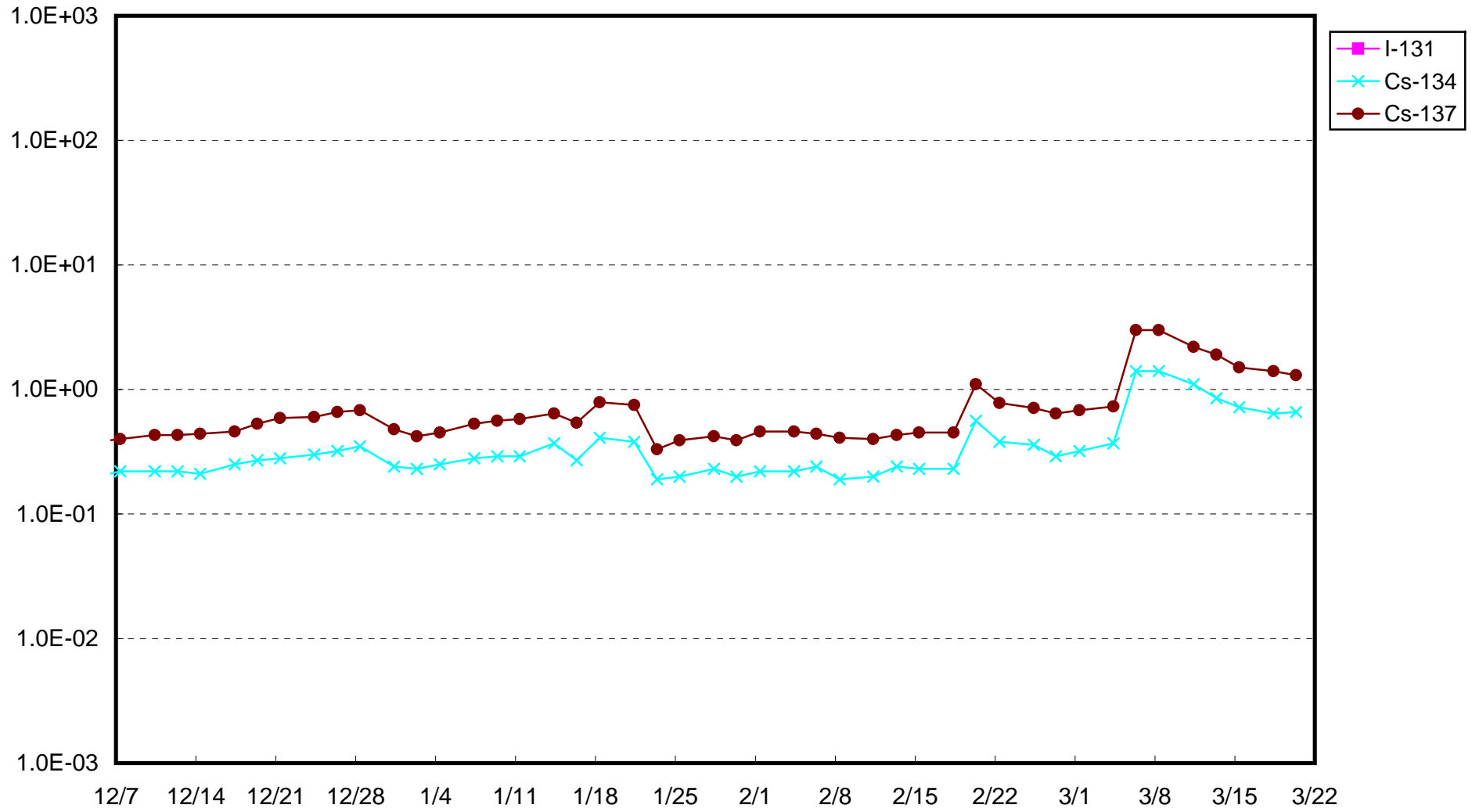
今回測定した試料からはPu-238, Pu-239+Pu-240は検出されなかった。

以上

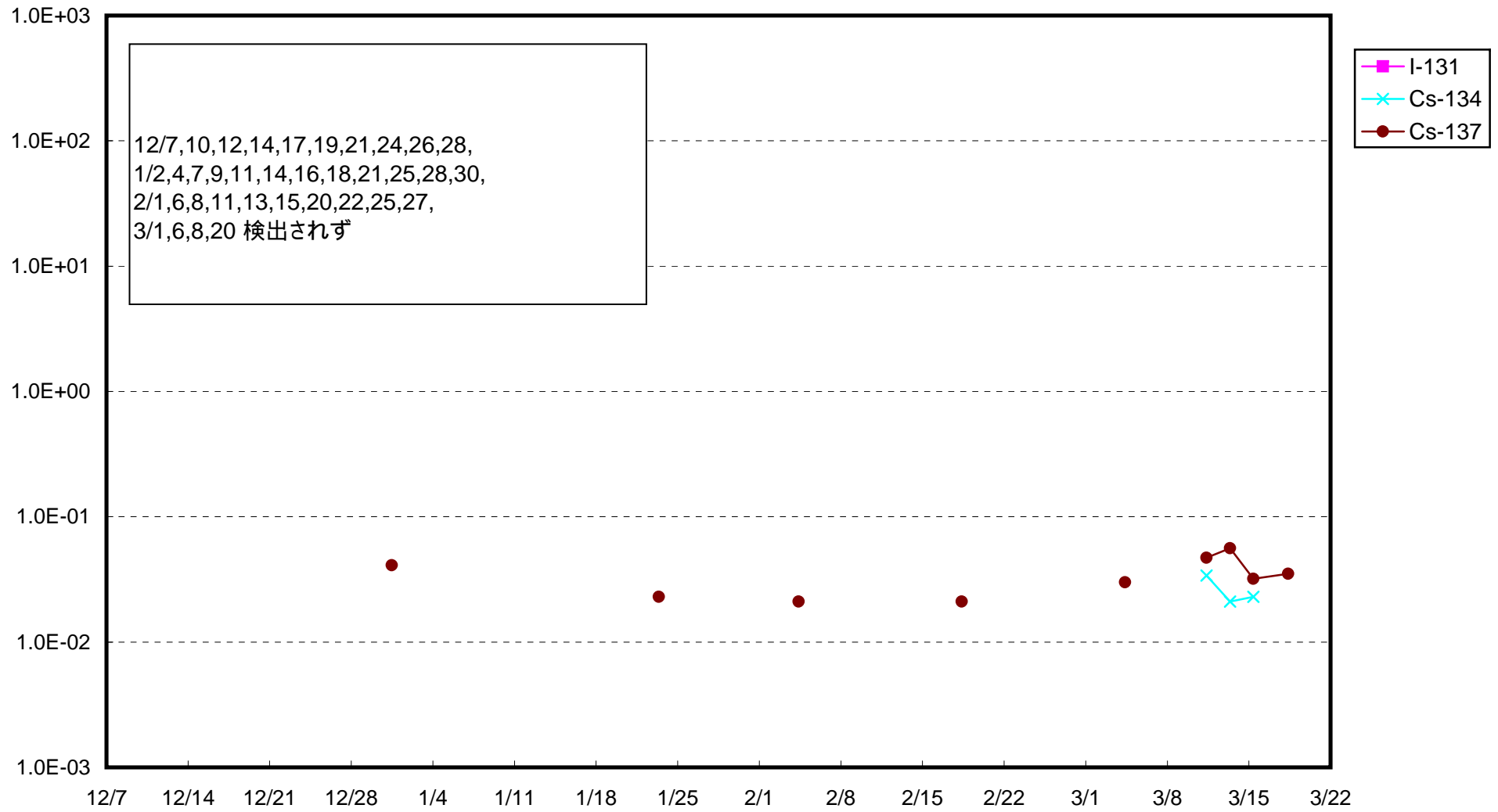
福島第一 1号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)



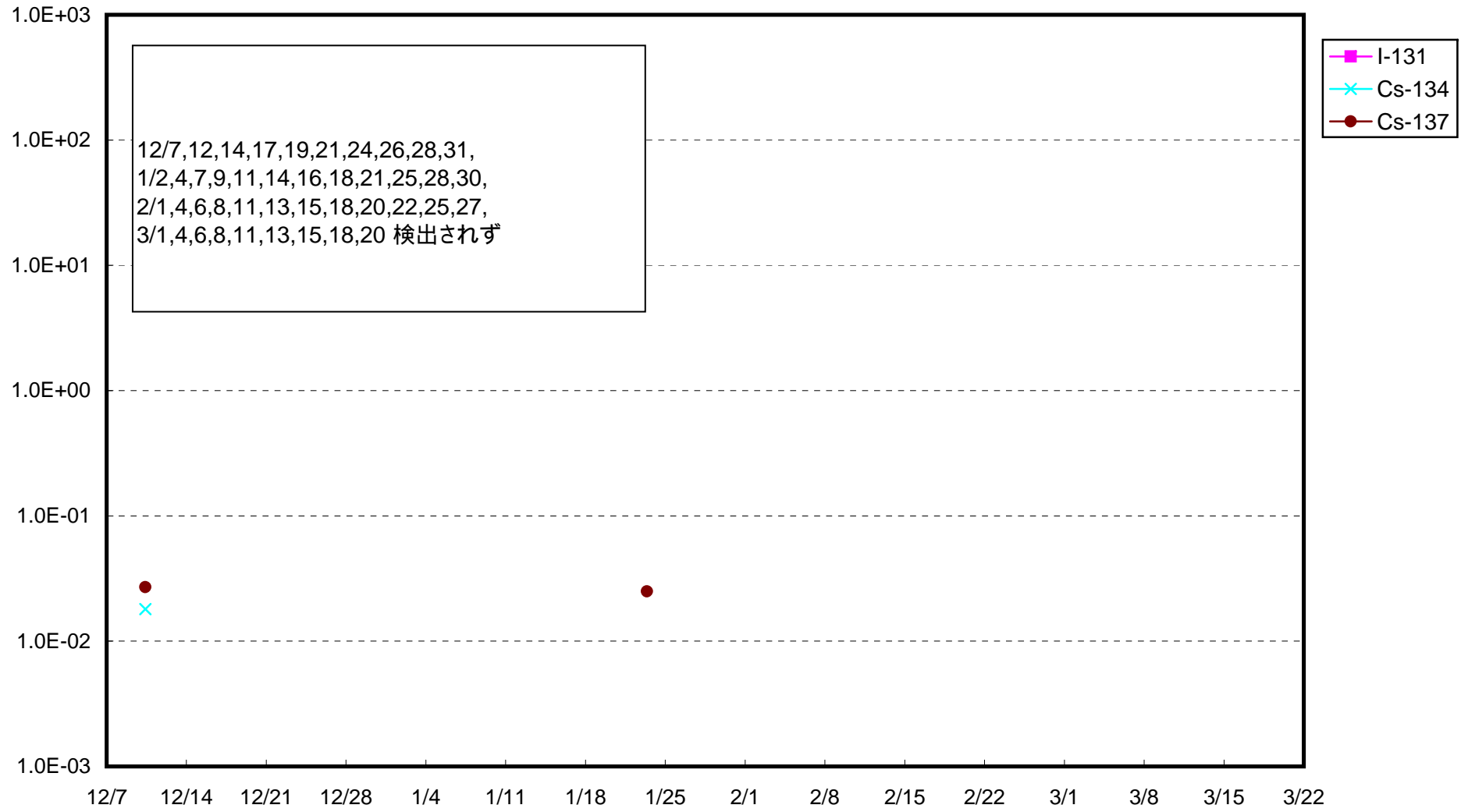
福島第一 2号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)



福島第一 3号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)



福島第一 4号機サブドレン放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)





福島第一 構内深井戸放射能濃度 (Bq / cm<sup>3</sup>)

